



ボランティアの個性で
和気あいあい
型にはまらない
自由な授業

市川市ユネスコ協会 日本語教室(本八幡)



ここでいろいろな国の人と出会うボランティアは「いつか海外旅行に出かけたい」と国際交流の夢も広がる。



日 本語がわからなくて困っている人を手助けしようと、日本語教室を開設して10年になります。日本語を教えるボランティアは、市川市の講座を受講した人や、日本語教育能力検定試験合格者など、さまざまな形で日本語の教え方を勉強してきています。授業の進め方はボランティアの個性に任ざれており、決められた教科書はありません。生徒にあった教科書を選び、ときには教科書に出ていないことも加えながら、必要と思う事例を教えています。

たとえば、「おじさん」と「おじいさん」の違いを教えるときも、絵を使って説明する人、発音を何度も練習させる人、日常生活の例を出しながら教える人、とそれぞれ違います。

また、各自受け持つ生徒は大体決まっています。一つの授業で1〜2人の生徒を受け持つ少グループ制。授業の日は朝9時から午後1時まで部屋を借りきっており、生徒が入れ替わり立ち替わり訪れては、日本語を勉強していきます。

アクティブに活躍する市川市国際交流協会 [I.I.A.]

日本語ボランティアグループ

市川市国際交流協会は、市民を主体とするさまざまな国際交流を推進するために2001年2月3日に設立されました。海外都市との親善や地域に根ざした国際交流活動を展開し、在住外国人とともに開かれた地域づくりを目指しています。いま、市川市の外国人登録者数はおよそ1万人余り。最近ではニューカマーの労働者数も増え、市内に居住する外国人は年々増加しています。こうした外国籍の人たちに日本語を指導する日本語ボランティアグループにスポットをあて、2つの教室を紹介します。



最近のニュースや話題も盛り込んだ授業。ボランティアも勉強熱心。



気軽な 国際交流の会

「気軽な国際交流の会」は、行徳駅から徒歩5分の新浜小学校の教室を利用して、外国籍の子どもたちに日本語を教えています。2002年9月からは中学生を対象とした教室も開設しました。

代表者の近藤明子さんは、外国籍を持つ子どもを対象とした日本語教室を開いて7年余りになります。夏休みも



子どもたちの興味を引くさまざまな教材。「視覚、聴覚、触覚でも日本語がわかるように工夫しています」。

このほかにもさまざまな日本語ボランティアの教室があります。詳しくは、市川市国際交流協会までお問い合わせください。

お問い合わせ

市川市国際交流協会 TEL 047-332-8891

子どもたちはカルタ遊びが大好き!



授業を行っているほか、県が行う「サバイバル日本語」にも参加し、市外の外国籍を持つ子どもたちと交流を図っています。

現在、登録している生徒の数は28名。ペルー、チリ、ブラジルの南米系の子が21名、アジア系の子が7名います。言葉も文化も全く違う日本に来た子どもたちは、まず日常生活を覚えなければなりません。

「最初に子どもたちに教えるのは、挨拶と、やってはいけない学校での禁止事項。そして、自分が不愉快に感じることをイヤだ」と伝えられるようにしています。学校でスクールを開くことは、学校の施設などの名前を教えるのにも便利なんです。それから、小学校高学年、中学生には勉強の補習も行っています。」と近藤さん。

学校生活の中で発言ができ、友だちと仲良くできるようになること。ここに重点を置き、ボランティアの皆さんは、常に子どもの目線に立って、信頼関係を築き上げていくことを心がけています。

「時にはメンタルケアも必要になります。ですから、家庭環境をしっかり把握し、ここを安心できる居場所にしたいたいと思っています。子どもたちは童謡や手遊びが大好きで、♪とりやんせ♪やっかごめかごめ♪で遊んだりしていますよ。この子どもたちの方が、日本の文化に深く接しているかもしれませんね」と近藤さんは笑います。

市川市国際交流協会 [I.I.A.] 日本語ボランティアグループ

市川市ユネスコ協会日本語教室(本八幡)
授業日/木曜日
場所/八幡市民談話室
連絡先/ 縣 正子 (あがたまさこ) TEL 047-373-4750

気軽な国際交流の会
授業日/第1〜3土曜日
場所/新浜小学校
連絡先/近藤明子 (こんどうあきこ) TEL 047-358-4294